

「風況」研究を提案

▽:「『風況』を議論しなければならぬ」と訴えるのは、九州大学応用力学研究所准教授の内

田さん。風況研究が風車に負荷を与えて過度の金属疲労を起す可能性があると指摘する。しかし「発電量を算出する平均風速ばかり議論されてきた」と指摘する。



内田さん

▽:提案する
るのは地形な
どを条件に調
べる風況診
断。風車の立

田孝紀さん。京都府で3月に起きた発電用風車の落下事故を受け、風に関する議論を呼びかける。

▽:風は地形などの影響で変化する。その変化を風任せにさせない。

(福岡)